

- 1 開会 進行：藤原生涯学習課係長

- 2 あいさつ 大北教育長
池田委員長

- 3 議事 令和7年度事業の実績及び令和8年度計画案について
 - (1) 生涯学習課 大西課長より説明
公民館 石田館長より説明
 - (2) 図書館 河端館長より説明
 - (3) 文化・スポーツ課、美術館 大西課長より説明
 - (4) 教育センター 小池所長より説明
 - (5) 人権推進課 藤田課長より説明

【質疑応答】

(池田委員長)

- ・以上、それぞれの所管課から説明を受けた。ここで質問や意見を伺いたい。

(小舟委員)

- ・みっきい生涯学習講師の派遣事業で、一定の成果につながったと判断したので、今年度末をもって終了ということだが、どのような講師が、どのような団体へ派遣されていたのか教えてほしい。
- ・どのような成果があったため、この事業を終了するのか教えてほしい。
- ・これまで、学校において茶道や水墨画の講師を派遣していただいていたが、この事業とは別の事業か。

(藤原生涯学習課係長)

- ・みっきい生涯学習講師に登録している講師として、学校のPTAが派遣依頼を行っているキンボールの講師やヨガの講師のようなスポーツ系の講師、落語や大道芸などの文化系の講師など、100名ほどの登録がある状況である。その講師が、ふれあいサロンや老人クラブ、自治会などから派遣申請があり、事業を行っている。
- ・来年度以降、講師の派遣を終了するわけではなく、市から講師への謝礼の支払を終了するものである。今後も引き続き、講師の派遣申請があれば、団体への講師派遣の調整は市で行っていく。
- ・学校における講師については、「地域と学校の連携・協働体制推進事業」というもので派遣をしていた。みっきい生涯学習講師の派遣事業とは別の事業である。

(小舟委員)

- ・出前講座は別の事業なのか。

(藤原生涯学習課係長)

- ・ 出前講座は、秘書広報課が取りまとめているものである。

(小舟委員)

- ・ 学校が依頼する講師はまた別にいるのか。

(藤原生涯学習課係長)

- ・ 学校への講師派遣は、資料の 8 ページ、9 ページの表にあるとおりである。

(小舟委員)

- ・ この講師への謝礼は、学校が支払っているのか、市が支払っているのか。

(藤原生涯学習課係長)

- ・ この事業については、学校の教職員が講師を探し、その講師への謝礼を市が支払っているものである。

(小舟委員)

- ・ この表に掲載されていないものがあるのはなぜか。

(藤原生涯学習課係長)

- ・ 学校独自で講師依頼をし、学校から講師へ謝礼を支払っているものについては、この表には掲載されていない。

(國井委員)

- ・ 別所のクリーンキャンペーンについて紹介させていただく。まちづくり協議会と別所中学校の生徒とともに年 2 回実施している。昨年 1 2 月は、別所小学校の児童も参加していただいた。今後も継続していきたい。
- ・ 別所ふるさと交流館について、さとの会のメンバーが運営しているが、高齢化や会員の減少が課題となっている。
- ・ 別所ふるさと交流館の今後の活用方法について、区長協議会、まちづくり協議会、別所ゆめ街道を考える会などの代表者と市とで協議する場を設ければよいのではないかと。

(大西生涯学習課長)

- ・ 別所ふるさと交流館のみならず、全市的にボランティア団体など的高齢化や会員の減少が課題となっている。施設については、市の再配置計画には予定を明記していないが、今後、新たな再配置計画を検討する時期が来るため、その際には、関係団体と協議しながら進めていきたい。

(小舟委員)

- ・ 資料の 1 3 ページに「移動販売車は地域責任者の協力により順調に運行ができているが、毎週の運行であるため、責任者への負担が大きくなっている。」とある。別所でも移動販

売が始まっており、定期的に販売車が来ており、ボランティアスタッフがいなくても順調にできている。そのため、ボランティアスタッフがいなくても上手く運営できる体制を検討してはどうか。

(大西生涯学習課長)

- ・志染ふれあい委員会の実情を現場で確認したうえで、公民館と協力しながら改善策を考えていきたい。

(小舟委員)

- ・地域クラブについて、活動拠点を自由が丘中学校、三木東中学校、吉川中学校の3校とすることが新聞に掲載されていた。
- ・今後、地域クラブが正式に開始される際には、生徒が通いやすくなるよう活動拠点を広く展開していくべきだと考える。

(大西文化・スポーツ課長)

- ・地理的な関係で、現時点では3校を活動拠点としている。
- ・吉川中学校については、小中一貫教育の推進のため、一つの拠点としている。自由が丘中学校と三木東中学校については、教室などを使いやすくするという意味で、試験的にスマートロックシステムを導入し、その後、全市的に導入できるかを検証することとしている。委員ご指摘のとおり、各校で様々な競技ができるように整備を進めていきたい。

(小舟委員)

- ・公民館なども利用できるよう進めていってほしい。

(國井委員)

- ・人の目の垣根隊の意見交換会をしたと思うが、その内容をまとめた資料をもらいたい。

(小池所長)

- ・委員会終了後、相談させていただきたい。

(6) 持続可能な人づくり・地域づくりについて 藤原生涯学習課係長より説明

(中西委員)

- ・「平和」というキーワードが気になっている。
- ・人づくりや地域づくりは、平和でなければ実行することができないため、平和に焦点を当てた取組をしていただきたい。
- ・人権教室において、人形劇や絵本の読み聞かせをしており、命の大切さについて伝えている。現在のこどもたちの心に、どのような種を植えるのかによって、今後10年先、20年先が変わってくると思う。

(國井委員)

- ・まちづくり協議会の中に、暮らし生活部会というものがあり、ボランティア活動プラザみきとともに、地域の課題解決に向けた取組をしている。

(池田委員長)

- ・福祉部門においても、社会教育と同様、人材育成が課題となっており、地域のことは自分たちで解決しようということで進んでいる。
- ・社会福祉協議会においても、助け合いの仕組みづくりを考えられている。

(佐藤委員)

- ・大学生が、どのように地域の活動に参画できているのかを考えている。大学においても地域との関わりを持てるような仕掛けづくりを検討しているが、主体的な参画を促すことは難しいことだと実感している。
- ・大学の授業に取り込めば、地域活動への参画が義務化され、そこから自主的な活動へつながる場合もあるため、そのような取組も必要と考えている。

(井上委員)

- ・学校運営をする中で、地域の方々に助けられて成り立っていると感じる。
- ・来年度から、自由が丘東小学校でも、コミュニティスクールが導入されるため、その中で地域の方々の力を借りていきたい。

(石田館長)

- ・吉川町でも、老人会やまちづくり協議会の方が学校に訪れ、交流していると聞いており地域と学校との連携は密にされているなど感じている。

(金井館長)

- ・三木地区では、地域行事で七夕まつりを実施しており、三樹小学校には短冊を書いてもらうように依頼している。

(坂田委員)

- ・生徒が地域行事の運営側として参画させていただいている。その経験が、将来の地域づくりにつながればよいと感じている。また、地域行事に参画する生徒は、生徒会が中心となっているが、それ以外の生徒にも参画できるような仕組みを作ることで、地域とのつながりを広げていければと考えている。

(永瀆委員)

- ・学校行事における地域交流として、廃品回収や奉仕作業がある。地域の方のお話を聞くと、とても楽しみにしていただいているとのことだった。行事をなくしていくという流れの中、こどもたちのために保護者が何をすべきかを考え、地域交流を継続できるようにしていきたい。

(小舟委員)

- ・別所では、まちづくり協議会主催の納涼大会において、中学生が司会進行をするなど、地域と学校の連携ができていると感じている。
- ・働き方が変わってきている状況の中、生産年齢人口の対象が変わってきているのではないかと感じる。それにより、自治会の役員のなり手が少なくなっていると感じる。

(岸本副委員長)

- ・スポーツ協会の理事長をしているが、指導者の人材不足が課題となっており、みきタイプにも影響を与えているのではないかと感じる。
- ・民生委員でも、なり手がいない地区が出てきている。なかなか後継者が育っていないことが課題である。大人として、子どもたちが伸び伸びと育つことができる環境を作るため、地域人材を育成していかなければならない。

(池田委員長)

- ・社会教育委員として、何ができるかを考えていきたい。
- ・教育振興基本計画の策定委員会があり、社会教育委員として提案した内容として、教育委員会や地域の方々に現状をお伝えするために、人づくりが必要であるということを計画に明記してほしいと訴えた。

(大西生涯学習課長)

- ・役員のなり手が少ない、というのはどういうことなのかを考えた際に、働いている方が非常に多いということである。実際に地域の役員のなり手は、65歳から75歳の方だけになってしまっている。
- ・事務局として、これらの課題をどう解決すればよいのかといった明確な答えはないが、引き続き研究していきたい。

(小舟委員)

- ・なり手が少ないながらも、何とか運営できている団体が多い状況である。今後、団体のあり方を見直し、活動しやすいような形へ変えていく時期に来ているのではないかとと思う。

4 その他

藤原生涯学習課係長より説明

- ・令和8年度東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会事業予定について
- ・令和8年度兵庫県社会教育委員協議会関連日程予定について

5 閉会

あいさつ

岸本副委員長

～午前 11 時 50 分終了～
記録者 生涯学習課係長 藤原